

# 人類の出現と文明プリン ト

名前

問1 バチカンのサン・ピエトロ大聖堂の歴史的背景について記されたレポートにおいて、11世紀末から開始されたキリスト教徒による大規模な軍事遠征の目的として最も適切な説明はどれですか。(2023年 青森県公立入試 類似)

1. イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと
2. 教会による免罪符(贖宥状)の販売に抗議し、聖書の教えに基づく信仰を確立すること
3. キリスト教の教義に反する考えを持つ人々を裁判にかけ、信仰の純粋性を守ること
4. シルクロードを通じた東洋との交易を独占し、新しい航路を確保すること

問2 古代エジプト文明の特色について述べた説明として、文化的な特徴と建築物の組み合わせが正しいものはどれですか。(2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 事物の形をかたどった象形文字(ヒエログリフ)を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。
2. 粘土板に刻まれた楔形文字を使用し、天体観測の結果をピラミッドの壁面に記録した。
3. 亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字を使用し、ナイル川のはんらんを鎮める儀式を行った。
4. 太陽暦を用いてはんらん時期を予測し、ジグuratと呼ばれる聖なる塔を各地に建設した。

問3 中国の古代文明における道具の使用や、文字が果たした役割についての説明として、歴史的な背景を踏まえた正しい記述はどれですか。(2019年 山形公立入試 類似)

1. 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。
2. 農作業を効率化するために鉄製の農具が広く普及し、土地の所有権を明確にするために文字が発明された。
3. ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、その計算結果を記録するために文字が独占的に使われた。
4. 巨大な王の墓を建設する際の労働力を管理するため、石碑にその功績とともに文字が刻まれた。

問4 南アメリカのアンデス山脈の急斜面に位置し、15世紀頃にインカ帝国によって築かれた、精緻な石積み遺構が特徴的な世界遺産の名称として正しいものを選択してください。(2015年 千葉県公立入試 類似)

1. マチュピチュ
2. コロッセオ
3. モヘンジョ・ダロ
4. アンコール・ワット

問5 紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次の中から選びなさい。(2020年 新潟県公立入試 類似)

1. 甲骨文字
2. 楔形文字
3. ヒエログリフ
4. フェニキア文字

問6 イスラム教が成立した7世紀末から8世紀初め頃、日本では奈良県に高松塚古墳が造られました。この古墳の石室壁画には、古代中国の思想に基づき、方位を守る「四神(ししん)」と呼ばれる青龍・白虎・朱雀・玄武などの動物や、当時の人々の姿が描かれています。このような壁画の内容から、当時の日本が最も強く影響を受けていたと考えられる文化の地域はどこですか。(2025年 千葉県公立入試 類似)

1. 中国
2. インド
3. ペルシャ
4. ローマ

問7 アフリカ大陸の地図を確認すると、経線や緯線を利用した直線的な国境線が多く見られます。このような国境線が画定された歴史的背景と、その後の影響について述べた文として最も適切なものを選びなさい。(2021年 奈良公立入試 類似)

1. ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。
2. 民族自決の原則に基づき、アフリカの各民族が話し合いを通じて、公平に資源を分配できるよう直線の境界線を定めた。
3. 広大な砂漠や熱帯雨林において、山脈や河川などの自然の地形を正確に境界線として利用した結果、直線的な国境となった。
4. 第二次世界大戦後に独立を達成した際、レアメタルの産出地域を周辺国で共有するために、国際連合が新たに引き直した。

問8 かつて日本列島には土器が出現する前の時代は存在しないと考えられていましたが、1949年に相沢忠洋氏が群馬県にある特定の遺跡で、火山灰が堆積した関東ローム層の中から石を打ち欠いて作られた道具を発見したことで、その定説が覆されました。このとき発見された道具の名称と、遺跡名の組み合わせとして正しいものを選択してください。(2023年 三重公立入試 類似)

1. 打製石器・岩宿遺跡
2. 磨製石器・岩宿遺跡
3. 打製石器・三内丸山遺跡
4. 磨製石器・三内丸山遺跡

問9 中世ヨーロッパにおいて、十字軍の遠征が行われたことがその後の社会に与えた背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2023年 山梨公立入試 類似)

1. 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった
2. 遠征に成功したことでローマ教皇の権威が絶対的なものとなり、宗教改革を未然に防いだ
3. 遠征軍がアジアから持ち帰った茶の栽培が広まり、ヨーロッパの農業構造が変化した
4. イスラム勢力が完全に消滅したため、キリスト教諸国によるアメリカ大陸の植民地化が始まった

問10 紀元前3世紀に中国を初めて統一した秦の始皇帝が行った政策について、その内容として正しいものはどれですか。(2017年 大阪公立入試 類似)

1. 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。
2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占し、仏教を国教とした。
3. 科挙の制度を整え、家柄にとらわれず優秀な人材を官吏として採用した。
4. 文字や貨幣の統一を禁じ、各地の伝統的な文化や経済の自立を促した。

問11 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みで見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。(2026年 奈良公立入試 類似)

1. イギリス
2. アメリカ合衆国
3. オランダ
4. ポルトガル

問12 イスラム教の教義が、当時の社会において受け入れられた背景やその仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。(2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。
2. 各地の伝統的な神々をすべて認める多神教的な立場をとったため、商売繁盛を願う商人層から広く支持された。
3. 生まれながらの厳格な身分制度を肯定し、それぞれの階級に応じた義務を果たすことが救済への唯一の道であると説いた。
4. 特定の聖典を持たず、文字の読めない人々でも日々の生活習慣だけで救われるという簡便な教理を特徴とした。

問13 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2023年 青森県公立入試 類似)

1. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。
2. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。
3. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。
4. 各地に都市国家(ポリス)が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 イスラム教勢力の支配下にあった聖地エルサレムをキリスト教徒の手に取り戻すこと	十字軍はローマ教皇の呼びかけに呼応したヨーロッパ諸国の王や貴族によって組織されました。主な目的はイスラム教勢力から聖地エルサレムを奪還することでしたが、遠征の過程で地中海東岸への進出や商業的利益の確保といった側面も持つようになり、西ヨーロッパ社会が外の世界へと拡大する契機となりました。
問2	答え 1 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。	エジプト文明では、事物の形を簡略化した象形文字（ヒエログリフ）が用いられ、王（ファラオ）の権力を象徴するピラミッドなどの巨大建築物が造られました。楔形文字やジグuratはメソポタミア文明、甲骨文は中国文明の特徴であり、それぞれ発生した地域や背景が異なります。
問3	答え 1 王が政治や軍事の重要な決定を行うための占いの記録に文字が使われ、祭祀の道具として青銅器が発達した。	殷の時代、政治は占いによって神の意志を問うことで行われており、その内容を刻んだのが甲骨文です。また、この時期に発達した青銅器は、主に神を祀る儀式（祭祀）や、王の権威を示すための器として作られました。鉄製の農具が普及するのは後の時代のことです。他の選択肢はエジプト文明などの特徴を含んでいます。
問4	答え 1 マチュピチュ	マチュピチュは、現在のペルーにあるインカ帝国の遺跡です。標高約2400メートルの尾根に位置しており、鉄製の道具を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を隙間なく組み合わせる高度な石造建築技術が用いられています。その立地から「空中都市」とも呼ばれ、世界文化遺産に登録されています。
問5	答え 1 甲骨文	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問6	答え 1 中国	高松塚古墳の壁画に描かれた四神の思想や人物の服装は、当時の唐（中国）の文化の影響を強く反映したものです。この時期の日本は、遣唐使などを通じて大陸の高度な技術や思想、宗教、政治制度を積極的に導入し、国家の形成を進めていました。
問7	答え 1 ヨーロッパ諸国による植民地支配の際、現地の民族分布を無視して一方的に境界線が引かれたため、独立後も紛争の原因となった。	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じて、アフリカを分割し植民地化しました。その際、現地に住む人々の言語、文化、民族の居住範囲といった実態を考慮せず、宗主国の利害関係を優先して経緯線などで機械的に境界線を引きました。この「人為的境界」は、一つの民族を分断したり、歴史的に対立していた民族を同じ国の中に閉じ込めたりすることにつながり、独立後の国境紛争や内戦、さらにはレアメタルなどの資源をめぐる対立が激化する大きな要因となりました。
問8	答え 1 打製石器・岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡で打製石器が発見されたことにより、日本列島に旧石器時代（土器出現前の時代）が存在したことが初めて証明されました。打製石器は石を打ち欠いて鋭い刃を作った道具で、これに対して石を磨いて形を整えたものは磨製石器と呼ばれ、後の新石器時代（日本では縄文時代以降）に普及しました。三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の大規模な集落跡です。
問9	答え 1 遠征を通じてイスラム世界の進んだ文化や学問が流入し、ルネサンスの遠因となった	十字軍の遠征は軍事的には失敗に終わりましたが、東方との交流が活発化したことで、当時のヨーロッパよりも進んでいたイスラム世界の医学、天文学、古代ギリシャの文献などが流入しました。これが後の人間中心の文化運動であるルネサンスにつながる重要な背景となりました。
問10	答え 1 万里の長城を修築し、北方の遊牧民族の侵入を防ごうとした。	始皇帝は、中国を統一した後に北方民族である匈奴（きょうど）の侵入を警戒し、それまで各地の国々が築いていた城壁をつなぎ合わせて大規模な万里の長城を修築しました。また、中央集権体制を強めるために、それまでバラバラだった文字、貨幣、度量衡（重さや長さの単位）を統一する政策を断行しました。
問11	答え 1 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在メルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。
問12	答え 1 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。	イスラム教は、神の前での平等を説き、富の再分配としての喜捨（寄付）や相互扶助を重んじました。この教理が、それまでの血縁や部族単位の対立を乗り越え、イスラム共同体（ウンマ）という新しい社会的な繋がりを形成する大きな要因となりました。
問13	答え 1 ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。	エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、ナイル川の定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業を発展させました。この氾濫の時期を正確に知る必要から天文学が進歩し、太陽暦が生まれました。他の選択肢にある楔形文字、60進法、1週間を7日とする制度はメソポタミア文明の特徴であり、都市国家（ポリス）や民主政治は古代ギリシャの特徴です。